

分科会

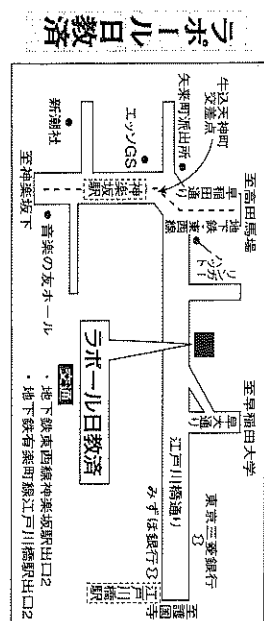
10月24日(土)

前半 (13:20~14:50)
後半 (15:00~16:30)

会場 ラポール日教済

学ぶことの意味を問い直す

(地下鉄)神楽坂駅A2出口 徒歩5分 江戸川橋駅 2番出口 徒歩5分



総学習

阿部 桂佑
(大田・糀谷小)

■「自助・共助・公助」はおかしいよね！ 防災教育教材の提案

4年生社会科「災害への備え」の教材を提案
 ①防災教育ブックレット集②防災ゲームをもとに「公助」の不十分さに目を向ける教材等

中村理依子

(西多摩・羽村・栄小)

■小学校1年生の学級びらきの工夫

子どもたちが入学してたくさん戸惑いが小学校生活にはあります。今まで当たり前におこなわれている教師主導のルールを取り除き、自分で考えて行動できる1年生の導入の工夫を紹介します

前半 A

人権・国際理解教育

岩本 章子
(墨田教組)

■コロナ差別について考える授業の報告

コロナ差別について考える授業や、外国につながる子が自分のルーツを大切にできるように学校で取り組んでいることをレポート

前半 B

健康教育

小林 泰子 新家 素子
(世田谷松沢中) (葛飾・高砂小)

■新しい感染症とどう向き合うか

新型コロナウイルス感染症対策が始まって、半年が経過しました。学校休業対応から始まった感染症対策は学校生活にどう影響したのか？今までの対応を振り返り問題点や工夫点を話し合います

図工

林 小和子
(多摩・立川第一小)

■臨時休校中の図工の課題から

休校中の子どもたちが少しでもホッとできるように図工でも課題をだしました。その中で感じたことや、考えたことをレポート

後半 A

音楽教育

武捨健一郎
(西多摩・羽村・栄小)

■小学校低学年 詩のある授業

突然詩を書くこう、なんてナンセンス。日常的に詩を書くことで、子どもも教員も自分の学校生活や授業を振り返り、経験として心に蓄積していく事ができると思っています

特別分科会

亀井 修司
(世田谷・世田谷中)

■世田谷教組の新型コロナ感染症対策のとりくみ

世田谷教組の新型コロナ感染症対策のとりくみと、多様化を極めていく学校現場の現状を考える

後半 B

桜井 秀樹 大浦 眞治
(杉並・八成小) (杉並教組)

■コロナ感染症対策と労働強化のとりくみ

2月末、首相による突然の「コロナ」対策による学校休校を発端とした学校現場の混乱と、労働強化に反対した杉並教組の取り組み

佐谷 修
(杉並・三谷小)

■指導と支援とケア ~コロナ禍にあらがひだされた学校のひずみ~

「指導と支援」を重ねていく学校の現状は、インクルーシブから程遠い、コロナ禍であらがひだされた問題と現状の指導と支援とは異なる視点ケアを通して、誰もがともに学べる学校について考察する

10月17日開催

会場：ラポール日教済

都庁労働から 都庁労働から 都庁労働から
 都庁労働から 都庁労働から 都庁労働から
 都庁労働から 都庁労働から 都庁労働から

都庁労働から 都庁労働から 都庁労働から
 都庁労働から 都庁労働から 都庁労働から
 都庁労働から 都庁労働から 都庁労働から